治療計画書

療法名

EPd(1~2サイクル)

療法

1サイクル 4 週

疾患名 再発又は難治性の多発性骨髄腫

大忠石 竹元人は発力にひ夕元に月 脚座																											
注射			用量(/回)	投与ルート	投与時間	1					2					3	2					4			Т		П
内服	Rn	商品名	用量(/日)	用法		1	2 3	3 4	5	6			10 1	1 12	13			3 17	1.8	19 2	0 2		23	24 5	25 2	6 27	28
放射線		照射部位	照射量	/11/Д		H	2	<u> </u>	J	0	, 0		10 1	1 12	10	17 1	J 10	, , ,	10	13 2	0 2	1 22	20	27 /	.0 21	5 21	20
从对19水	Н		250 ml	点滴	キープ		+	+		+	+	\vdash	-	+			+		Н		+	┢		+	+	+	Н
·+	13	上垤艮塩液	250 MI	从 /间	ャーノ	4																					
注射	1										•																
射																											
																									4		Ц
	4	生理食塩液	50 ml	点滴(側管)	キープ																						
注射	, _										•					4						•					
射																						_					
	j	デキサート	6.6 mg	点滴(側管)	10分																				Т		П
注射		上理食塩液	50 ml	エムプリシティ投与																							
射	3 -			45分前まで							•	1										•					
	4	生理食塩液 生理食塩液	100 ml	点滴(側管)	45分														H		t	t	Ħ				Ħ
注	F		100 1111	WASTED /	.573	1																					
注射	4										•																
נה																											
	+	 Ľムプリシティ	10 mg/kg	点滴(側管)	フローシートに従う			H	H	+	+			+		-	+		Н		+	+		+	+	+	H
:+	<u> </u>	E型食塩液	* 250 ml	品质(侧官)	プローシードに扱う	-																					
注射)														
别	<i>)</i> -	主射用水	25mg/mlで溶解			-																					
		1 A 16 - b		L													_								4	_	Ш
	4	主理食塩液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ																						
注射	6																					•					
射	Ľ																					_					
注射	7																										
射	′ 🗆																										
																			П		T			T	T		П
注																											
注射	8																										
711	\vdash																										
	\vdash									+	+				H	+			H		t	\vdash	H	\dashv	+	+	H
注	\vdash																										
注射	9					1																					
ניג	\vdash					-																					
	+																		Н		+			\dashv	+	+	\vdash
	F																										
注射	10																										
别	L																										
	1.	1 - 6 -	N/N/ 00	0 :							1_								Н		-	Ļ			4		Ц
内服	1	ンナデックス 	※※ 28 mg	エムプリシティ投与							•						_		Н		-	•			4		Ц
		プロルフェニラミン	6 mg	エムプリシティ投与							•	-					-		Ш			•	-		4	\perp	Ш
		ファモチジン	20 mg	エムプリシティ投与							•)				•			Ш			•	-		4		Ш
内服	4 ナ	カロナール	1000 mg	エムプリシティ投与							•)										•					Ш
内服	5 1	ドマリスト	4 mg	1日1回就	寝前		•	•	•	•	•		•	•		•				•							
内服																									Т		П
放射線			Gy																								П
	-				特記事項																					_	

特記事項

※希釈液量は次の通り。体重50kg未満:150ml、50-90kg:;250ml、90kg超:350ml の生食または5%ブドウ糖注射液で希釈する。

※※ 75歳を超える患者には、レナデックスを8mgで投与してもよい。

・インフュージョンリアクションGrade1~2の出現時はエムプリシティの投与を中断し、回復した場合には0.5ml/分の速度で投与を再開できる。忍容性が確認されれば30分毎0.5ml/分ずつ投与速度を上げるが、インフュージョンリアクションが発現した流速を超えない。Grade 3以上のインフュージョンリアクションが出現した場合は、エムプリシティの投与を中止し原則再投与しない。

・エムプリシティは0.22 μ m以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。

減量規定										
薬品名 標準投与量										
標準投与量										
1段階減量										
2段階減量										
1段階減量 2段階減量 3段階減量										